

北海道知事
高橋はるみ様

2009年（平成21年）9月9日

新型インフルエンザへの対応に関する要望書

財団法人北海道難病連
代表理事 高田 泰一

日頃より、私ども北海道難病連の活動に対しましてご理解をいただき、ありがとうございます。

さて、新型インフルエンザについてマスコミ等で連日報道され、厚生労働省が「流行シーズンに入った」と正式に発表する事態となっています。

北海道におかれましては、対策会議を開き、万全の対策をとるよう鋭意努力しているものと推察されます。とくに、この間の新型インフルエンザ感染者の死亡例からみて、慢性疾患患者など基礎疾患を抱えた患者が重篤になる可能性が大きいと考えられます。

そこで、予防接種など新型インフルエンザ対策にあたっては、難病患者や長期慢性疾患患者など基礎疾患を持った患者への対策に万全を期して頂くよう下記の事項を要望致します。

<要望事項>

1. 新型インフルエンザの拡大防止に努め、関係機関と連携して治療薬の確保や治療体制の確立等の事前対策に万全を期すこと。
2. 新型インフルエンザワクチンの接種について、妊婦や小児だけでなく、難病患者・長期慢性疾患患者など基礎疾患を持った患者への費用の無料化・優先順位について考慮すること。
3. 基礎疾患を持つ患者に不安を抱かせないよう、正しい知識を提供し、相談窓口の充実を図ること。
4. 医療機関や市町村、教育・福祉施設等の関係機関の相談対応及び蔓延防止に関する指導を徹底すること。